

## 差別主義に替わって

羽島市立竹鼻中学校 三年 坂知優

「それぞれの血液型のイメージは？」と聞くと、ほとんどの人が「A型の人は……。B型の人は……。」と答えられることでしょう。私の血液型はB型ですが、私はあまりそれを公言したくはありません。微妙な顔をされたり、自己中心的と言われたりするからです。「血液型と性格は関係ない。」と言われている今でも、血液型で人を見る人は一定数います。一度植えつけられた先入観は簡単に抜けないのです。

先日、道徳の授業でキング牧師について学びました。アメリカが舞台の話です。当時のアメリカでは、白人の為のバス、白人の為のトイレ、白人の為の学校、というように白人と黒人が区別されていました。「白人の為の学校」があれば「黒人の為の学校」もあり、公共施設は全て肌の色によって決められていたそうです。キング牧師は人種差別に立ち向かっていくことになりました。「ど

うして、肌の色が違うだけで差別されなければいけないのだろう。」この話を読んでまず私が思ったことです。

みなさんは「ポリコレ」という言葉を知っていますか。ポリコレとは「ポリティカル・コレクトネス」、日本語にすると「政治的正しき」という言葉の略で、特定の人に不快感を与えない様に意図されたものの総称です。例えば「看護婦」という言葉は性別を断定しているとして「看護師」と呼び名が変わったといったことです。

こういった動きが盛んに行われているのは欧米です。国際的な影響力のある国々が非差別に向けた活動をすることで、自然と差別をする風潮がなくなっていくことが期待されています。

現代は多様性の時代。同性愛も認められ、社会の潮流の変化に伴い、文化面だって変化しています。二〇二四年から、アカデミー賞の作品選考基準には、「主役級の役にアジア人や黒人、ヒスパニック系などの人種または民族的少数派の俳優を起用すること。」という項目が新たに設けられます。しかし、私は疑問に思います。「その基準を設けることで、より素晴らしい映画が出

来るのだろうか。」と。キャストの人種や性別などが作品の良し悪しに関係あると言われたら、多様性の社会は、生きづらさを助長することになるのではないでしょう。どれだけストーリーの完成度が高く、面白くても、登場人物が白人だらけだったらバッシングの標的です。「ポリコレに配慮しろ！」と。いずれエスカレートし「多様性に配慮しない奴は人として駄目だ。」と新たな差別を生むのではないのでしょうか。

多様性とは、異なる特徴・人格を認める事です。一定のルールづくりは必要ですが、「多様性を強制する」印象を与えては、社会の分断を生むだけです。段々と「尊重できる人」が優位に立ち、それでは違う考え方を持っている人への無意識的な差別が始まってしまおうが目に見えています。

血液型による差別が始まって約五十年。人種差別に至ってはその何十倍もの歴史があります。血液型がB型だから自己中心的、ではなく、たまたまB型。ただそれだけ。キング牧師の話聞いた時、「人権差別なんて駄目だ！」と思ったのは、見た目で人を判断する事は

正しくないと学んできたからです。

見た目で人を判断する。これは学校でも会社でも起こる身近な問題で、差別・いじめの元ともなります。だからこそ私は、先入観をもって人と会話せず、相手から直接知ろうとするべきだと思います。それが個人でできる差別に対しての最大の平和的解決法ではないのでしょうか。

みなさん、邪魔な先入観は捨てましょう。